

令和4年1月7日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題：骨ドックにおける中高年者を対象とした骨脆弱性に関する観察研究

研究責任者：藤田医科大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科学 教授 鈴木敦詞

研究目的・方法・研究機関：超高齢社会の進行とともに、筋骨格系の疾患が増加の一途をたどっており、わが国の保健衛生上の喫緊の課題となっています。その中で骨粗鬆症は、加齢に伴い有病率が増加し、その臨床的イベントとしての脆弱性骨折の発生率が増加することが知られています。骨強度の維持のためには、早期からの骨量維持の対策が重要であり、特に50歳以上の男女に対して積極的な啓発活動を行うことが求められています。しかしながら、骨粗鬆症による脆弱性骨折は、外傷による骨折と混同されやすく、また無痛性骨折が多い椎体骨折が、わが国では特に多いことから、先制的な医療・保健指導が行われにくい環境にあります。特に50歳台を中心とした中高年層では、骨粗鬆症に対する危機意識も低く、その年齢層における骨代謝状態についてのデータは未だ十分に蓄積されていません。本研究では、中高年の骨ドック受診者を対象として、骨脆弱性に繋がる臨床背景を検討することを目的とします。

方法：2021年1月1日から2023年12月31日までに、医療法人医親会マリノクリニックにて骨ドック検診を受診された、受診時40歳以上70歳未満の方が対象となります。健診でえられた、検査結果を個人が特定できないように匿名化したのちに、藤田医科大学医学部内分泌・代謝・糖尿病学教室にて、統計学的に処理します。この研究のために新たに取得する情報はありません。また、研究のために追加の費用が受診者に請求されることもありません。本研究では、個人情報厳重に守られます。本研究の資金は藤田医科大学教員研究助成費を使用し、外部からの経済的・人的支援を受けません。研究期間は、藤田医科大学研究倫理委員会が本研究計画が承認された日から2024年3月31日までです。

*本研究の対象になられる方で、ご自身のデータの利用を除外してほしいと希

望される方は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。除外のお申し出により不利益を被ることは一切ありません。

問い合わせ先：

藤田医科大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科学

担当者：鈴木敦詞

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9242

e-mail: endolabo@fujita-hu.ac.jp